

定年退職者の方々を送る

退職にあたって

下村 英登 (附属植物園 主査)

定年に際して、私は昭和41年(1966年)に当時東京大学宇宙航空研究所に採用となり、宇宙科学研究所・東京大学東京天文台・国立天文台・東京大学原子核研究所・宇宙科学研究所・国立天文台・東京大学海洋研究所を経て現在、東京大学大学院理学系研究科附属植物園に勤務しています。その間、文部省直轄研究所・

宇宙科学研究所および国立天文台には2度勤務いたしました。東京大学海洋研究所に転任になりましたときは東京大学も大きく変わっていたため随分戸惑いました。

私は植物園に在職期間の中で一番感動いたしましたことは2006年4月10日行幸啓・天皇皇后両陛下植物園に御視察になられ両陛下より直接お礼のお言葉をいただいたことです。このような機会は今後ないと思います。残り少ない在職期間、植物園に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

当初採用されました東京大宇宙航空



研究所より現在勤務している附属植物園に至るまで、お世話になりました上司、先輩、友人方にこの場をお借りしてお礼を申します。

今後ともよろしく願いいたします。

未来に

永田 順子
(研究支援・外部資金チーム 係長)

昭和45年(1970年)に生産研に採用となり、放送大学、創域、海洋研に異動後、理学系研究科等事務部を最後に定年を迎えることとなりました。

恵まれた職場環境と古き良き仲間達、そして家族の協力に感謝！感謝！です。

女性の働く環境は社会の趨勢、厳しいものがありますが、普通に家庭をもち子供を産み育てられる良き環境のなか、働き続けることができますように！

今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。



出会いそして別れ

沼尾 吉美 (化学専攻 事務室係長)

文部省(現在、文部科学省)から1981年に東京大学にまいりました。時の経つのはほんとうに早いものでたいへん驚いております。

東大病院～学生部～生産技術研究所～教養学部～東京国立博物館～理学部化学専攻(省略あり)など幅広く仕事をしてまいりました。とくに学生部は、元気のある人ばかりで圧倒され、ここで過酷な出会いがあり、運動会主催の「西伊豆・戸田マラソンレース」に挑戦しました。

フルマラソンで制限時間6時間、戸田寮前からスタートして急勾配のあるコース。皇居一周5kmは走ったことはありましたが42.195kmはなく、初フルマラソンデビューでした。ぎりぎりです無事完走。「自分を褒めてあげたい」と思いました。この時以降現在も「継続は力なり」精神で頑張っています。

東京国立博物館では、新設ポストに配属され、独法化されてから、イベント(コンサート、落語、演劇、その他)などが行われるようになり、企画、友の会、ポスターなどをつくったり、チケットが売れない時には当時のみなさんと手分けして上野界隈のお店にポスターを置かせてもらうためにお願いに行ったことも



ありました。

理学部化学専攻で残りの2年間をすごし、いま東京大学での27年間を終えようとしています。化学教職員の皆様にはたいへんお世話になりました。化学専攻の今後のご発展とご健勝をお祈りいたします。

このほかにも1名の方が定年退職されます。長い間、どうもありがとうございました。
笠原 純子 (図書係 係長)